

平成28年度事業報告書

平成28年度は、経済の緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費及び民間設備投資は力強さを欠いた状況であった。廃棄物処理業界でも景気拡張の波は押し寄せていないが、年度後半には、景況判断が改善してきた一年であった。

こうした中、協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境整備をモットーに、各種研修会・講習会の実施、廃棄物処理法改正にあたっての意見や要望の提出、東京都予算・制度改正等に対する知事や政党への要望、個別課題としての再生砕石・建設廃棄物問題の解決に向けた関係団体への働きかけ等、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。また協会の実質的な活動を支える7つの委員会、3つの部は、常日頃から、それぞれが設定した課題解決・目的実現に向け活発な活動を行ってきた。

以下、主な活動を報告する。

1. 適正処理推進事業（公益的事業）

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

法制度の改正や首都直下などの巨大地震による災害廃棄物対策の動向等について情報収集を行うとともに、異物混入による事故の防止など、業界が直面する課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため調査研究を行い、要望等を実施した。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。

① 建設廃棄物・三者施設見学研修会 見学会：34名 勉強会：37名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

対象者：東京都環境局資源循環推進部

(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会

期 日 : 平成28年10月27日
見学先施設 : 混合廃棄物選別施設
(株)シタラ興産 サンライズFUKAYA工場 (埼玉県深谷市)
勉強会講師 : 東京都環境局資源循環推進部
" 内容 : 廃棄物処理法における廃石綿等について
建設泥土(汚泥)の現状等について
PCB特措法の改正について
" 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

② 第2回医療廃棄物排出事業者向けセミナー 89名

[本協会・医療廃棄物委員会 主催]

対象者 : 医療廃棄物排出事業者
期 日 : 平成28年11月18日
内 容 : 排出事業者責任を問われた事例に学ぶ
第三者評価制度の概要～評価の視点と優良処理業者の活用～
医療廃棄物の分別方法と注意点
講 師 : 本協会顧問弁護士法律事務所
(公財)東京都環境公社
本協会医療廃棄物委員会委員
場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

③ 医療廃棄物適正処理研修会 86名

[本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催]

対象者 : 特別管理産業廃棄物管理責任者等
期 日 : 平成29年 3月25日
内 容 : 在宅医療廃棄物を巡る諸課題
水俣条約を踏まえた水銀廃棄物対策
廃水銀血圧計・廃水銀体温計自主回収への東京都医師会の取組につ
いて
産業廃棄物の適正処理を果たすための排出事業者責任について
東京都医師会方式による医療廃棄物追跡管理システムの活用につ
いて
医療廃棄物の分別方法と注意点
講 師 : (公社)日本医師会
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課
(公社)東京都医師会
東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課

(公財)東京都環境公社
 (一社)東京都産業廃棄物協会 医療廃棄物委員会
 場 所 : 東京都庁 都民ホール (新宿区)

④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース

[本協会 / (公社)全国産業廃棄物連合会 共催] 179名
 期 日 : 第1回 平成28年6月24日 69名
 対象者 : 収集運搬業者 新入社員
 講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会 相談員
 場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)
 期 日 : 第2回 平成28年8月19日 58名
 対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等
 講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会 相談員
 (公財)日本産業廃棄物処理振興センター
 場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)
 期 日 : 第3回 平成28年11月28日 52名
 対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当 経験者 等
 講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会 相談員
 BUN環境課題研究事務所
 場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)
 [実施機関 : (公社)全国産業廃棄物連合会 本協会実施協力] 162名
 対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等
 期 日 : 平成29年 2月24日
 講 師 : (公社)全国産業廃棄物連合会
 場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

2) 講習会事業 (許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1,063名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回	平成28年	5月17日～18日	171名		
			第2回	28年	6月16日～17日	154名
			第3回	28年	9月 8日～ 9日	156名
			第4回	28年	11月17日～18日	150名

第5回	29年 1月17日～18日	159名
第6回	29年 3月 9日～10日	157名 (947名)

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回 平成28年10月12日～14日	116名
場所	: ベルサール西新宿 (新宿区)	

② 更新許可申請講習会 1, 185名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回 平成28年 4月22日	170名
	第2回 28年 5月13日	168名
	第3回 28年 6月 3日	171名
	第4回 28年 9月 2日	166名
	第5回 28年12月 2日	171名
	第6回 29年 1月13日	167名
	第7回 29年 3月 3日	172名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2, 569名

期日	: 第1回 平成28年 4月21日	160名
	第2回 28年 5月12日	166名
	第3回 28年 6月 2日	169名
	第4回 28年 6月15日	165名
	第5回 28年 7月 7日	162名
	第6回 28年 7月 8日	169名
	第7回 28年 9月 1日	162名
	第8回 28年10月 6日	168名
	第9回 28年10月 7日	167名
	第10回 28年11月 1日	139名
	第11回 28年11月 2日	124名
	第12回 28年12月 1日	170名
	第13回 29年 1月12日	169名
	第14回 29年 2月16日	150名
	第15回 29年 2月17日	173名
	第16回 29年 3月 2日	156名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 (医療関係機関等対象) 192名

期日 : 第1回 平成28年 9月28日

場所 : 日本医師会館 (文京区)

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 168名

期日 : 第1回 平成28年 7月29日

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。28年度の相談件数は、3,168件で、前年度に比較して407件増加した。

平成28年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(3,168件の内訳)		II 照会・相談・質問 者内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	2,212	排出事業者等	2,404	会員紹介	2,259		
	相談事項	360			法令	355		
	質問事項	531	処理業者	304	処理方法	123		
面接 WEB等	処理先照会	65	建設業関係	218	契約書・管理票	255		
	相談・質問事項		行政機関	31	リサイクル関連	14		
計		3,168	コンサル	35	建設廃棄物	18		
			医療機関	51	許可関係 (講習会関係以外)	121		
			一般都民	125	その他	23		

2. 環境対策事業 (公益的事業)

(1) 環境活動

4月23日~24日に開催された「アースデイ東京2016」に青年部が参加し、会場内ごみゼロステーションの運営協力と来場者に対する環境教育を行った。

また、女性部は、部員各社が集めたペットボトルキャップの売却益等を原資に購入した大型絵本を、岩手県釜石市保健福祉部を通じ、市内三ヶ所の保育所に寄贈した。

さらに、会員各位の協力を得て、「ベルマーク回収による東日本大震災被災校への支援活動」を女性部が中心となり行った。

(2) 環境対策事業

該当事業なし。

(3) 災害廃棄物対策事業

東京都の廃棄物審議会等における「東京都災害廃棄物処理計画」の策定に参画し、処理業者の視点からの対応策を提示した。

3. 普及事業（その他事業）

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全衛生に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 協会発行図書等の有償頒布

主な有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	1, 391部
建設廃棄物処理委託契約書	1, 356部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	234部

車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	23社	48組
シート(固定)式	9社	40組
合計	32社	88組

*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、(公社)全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、「電子マニフェストに係る説明会」を実施するとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子

マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）〔連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

種 類		単 票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	200,300 セット	162,500 セット	362,800 セット
	積替用	28,300 セット	78,000 セット	106,300 セット
建設系廃棄物		441,200 セット	354,000 セット	795,200 セット
合 計				1,264,300 セット

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	6,700 セット
--------------------------	-----------

電子マニフェストに係る説明会

226名

〔（公社）全国産業廃棄物連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

対象者： 排出事業者及び収集運搬業者、処分業者においてマニフェスト業務に携わる実務担当者、電子マニフェストの導入を検討されている企業等

ア 電子マニフェスト操作体験セミナー

期 日： 第1回 平成28年 6月29日 19名
 講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
 場 所： Winスクール 新宿本校（新宿区）
 期 日： 第2回 平成28年 9月15日 14名
 講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
 場 所： Winスクール 新宿本校（新宿区）
 期 日： 第3回 平成28年10月27日 20名
 講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
 場 所： Winスクール 新宿本校（新宿区）

イ 電子マニフェスト導入実務研修会

期 日： 第1回 平成28年10月12日 56名
 講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
 場 所： エッサム本社ビル（千代田区）
 期 日： 第2回 平成28年11月18日 52名
 講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
 場 所： エッサム本社ビル（千代田区）
 期 日： 第3回 平成28年12月16日 54名

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場所：エッサム本社ビル(千代田区)

ウ 電子マニフェスト個別導入相談会

期日：第1回 平成28年11月18日 3社6名

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場所：エッサム本社ビル(千代田区)

期日：第2回 平成28年12月16日 4社5名

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場所：エッサム本社ビル(千代田区)

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第308号から第319号まで計12号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① 総務委員会の協議事項について
- ② [全国産業廃棄物連合会]
第56回関東地域協議会開催される
環境省・産業廃棄物課長 講演『産業廃棄物行政の現状と今後の展望について』ほか
- ③ [第4回定時総会]
新役員を選任
平成28年度表彰式 4部門で表彰
- ④ [全国産業廃棄物連合会]
第6回定時総会を開催
28年度表彰では当協会から3社18名が受賞
- ⑤ 平成28年度第1回新入会員と協会役員との懇談会
- ⑥ 「東京都廃棄物審議会災害廃棄物部会(第1回)を傍聴して」 専務理事
- ⑦ 平成29年度東京都予算等で要望活動
- ⑧ [建設廃棄物委員会]
東京建設業協会・東京建物解体協会との合同施設見学会
㈱シタラ興産「サンライズFUKAYA工場」を訪問
勉強会はアスベスト・建設汚泥・PCBをテーマに開催
- ⑨ [28年度国内処理施設見学研修会]
水島エコワークス㈱と公益財団法人岡山県環境保全事業団を見学
第15回『産業廃棄物と環境を考える全国大会—岡山—』

- ⑩ [新年のご挨拶]
「年頭にあたって」 東京都産業廃棄物協会会長
「持続可能な静脈ビジネスのさらなる発展に向けて」 東京都環境局長
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会を椿山荘で開催
東京大学大学院教授 講演『循環型社会をとりまく国際的動向』
- ⑫ 「団体課題別人材力支援事業」が始動
女性部が日本工学院八王子専門学校にて「出前講座」開く

(3) 会 員 事 業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 安全衛生研修会 198名

[安全衛生推進委員会 主催]

ア 第1回安全衛生研修会

期 日 : 平成28年 6月22日 74名
 内 容 : 廃棄物処理の現場から学ぶヒヤリハット
 講 師 : 本協会 安全衛生推進委員会
 場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

イ 第2回安全衛生研修会

期 日 : 平成28年11月 1日 67名
 内 容 : 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会
 講 師 : 中央労働災害防止協会
 場 所 : フォーラムミカサ エコ (千代田区)

ウ 第3回安全衛生研修会

期 日 : 平成29年 2月28日 57名
 内 容 : 産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について
 講 師 : 東京労働局
 場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

② 平成28年度東京都「団体課題別人材力支援事業」

[本協会企画]

ア 個社別採用支援コンサルティングの実施

内 容 : 従業員の採用・定着等に係る個社課題に応じた研修等

イ 出前講習の実施

期 日 : 平成29年 2月16日

内 容 : 『資源リサイクルを考えるワークショップ』
日本工学院八王子専門学校の土木・造園科1年生を対象とした
環境学習等

参加者 : 66名

場 所 : 日本工学院八王子専門学校（八王子市片倉町）

ウ 合同企業説明会・面接会の実施 『環境ビジネス☆就職フェア』

期 日 : 平成29年 3月21日

内 容 : 来春卒業予定の新卒者を対象とした会員企業（21社）による
パネルディスカッション、合同企業説明会・面接会

来場者 : 154名

場 所 : 渋谷クロスタワー（渋谷区）

エ 雇用環境整備（事業承継）研修の実施

内 容 : 『経営の高度化と原理原則』～財務面から見る企業の魅力とは～
経営者、管理監督者を対象とした財務面からの従業員の定着促進
に向けた研修

③ 国内処理施設見学研修会 及び

第15回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」

22名

期 日 : 平成28年11月10日 ～ 12日

見学先 : 水島エコワークス㈱

(公財)岡山県環境保全事業団（岡山県倉敷市）

2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。

② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
平成27年度末会員数	557	63	620
平成28年度入会者数	5	4	9
〃 退会者数	13	3	16
平成28年度末会員数	549	64	613

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業廃棄物連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

28年度は、『優良事業所表彰』4社、『功労者表彰』2名、『優良従事者表彰』28名、安全衛生表彰『会長賞表彰』1社、『安全衛生推進委員長賞表彰』2社・1名を表彰した。

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (1回)

第4回定時総会 期 日 : 平成28年 5月26日
場 所 : 青山ダイヤモンドホール (港区)
議 案 : ①平成27年度事業報告の件
②平成27年度決算報告承認の件
③理事・監事選任の件
出席者 : 405名 (委任状を含む)

(2) 理事会 (定例会9回/臨時会1回)

第26回理事会 期 日 : 平成28年 4月13日
第27回理事会 期 日 : 平成28年 5月11日
臨時理事会 期 日 : 平成28年 5月26日
第28回理事会 期 日 : 平成28年 6月 8日
第29回理事会 期 日 : 平成28年 7月13日
第30回理事会 期 日 : 平成28年 9月14日
第31回理事会 期 日 : 平成28年11月 9日
第32回理事会 期 日 : 平成28年12月14日
第33回理事会 期 日 : 平成29年 1月11日
第34回理事会 期 日 : 平成29年 3月 8日

(3) 常任理事会 (14回)

平成28年	4月13日	平成28年	4月26日	平成28年	5月11日
平成28年	6月 8日	平成28年	7月13日	平成28年	7月26日
平成28年	9月14日	平成28年	10月25日	平成28年	11月 9日
平成28年	11月22日	平成28年	12月14日	平成29年	1月11日
平成29年	3月 8日	平成29年	3月28日		

5. 委員会活動

(1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項、協会の財政基盤強化など横断的事項について協議し、調整を行った。

分科会として法制度検討委員会は、協会版「マニフェストQ&A集」の作成に注力し、合宿方式による集中検討など熱心に活動を進めた。

また、東京都災害廃棄物処理計画の策定に伴い、処理業界として、災害時の協力態勢をどう構築するか検討を進めるため、29年度限りとして「災害廃棄物検討分科会」を新しく設置することとした。なお、委員は会員より募集する。

(2) 広報委員会

協会活動及び法制度に関する情報を機関誌『とうきょうさんばい』と協会ホームページを通じて、「正確・迅速」に協会員へ伝えた。

- ・協会財政状態の改善に向け、費用対効果を常時、追求した。
- ・広報委員会委員への参画を協会員各位に促すも増員は実現できなかった。

(3) 中間処理委員会

① 2年程前から継続している異物混入問題では、平成27年5月に作成したリーフレットの配付効果がどの程度あったかを、連携して活動している収集運搬委員会と合同で検証した。

一定の効果は得られているものの、まだ十分ではないことから、今後も協力し継続することとした。

② 4月に実施した国内外の水銀規制の動き等を踏まえた勉強会は、野村興産㈱から講師をお招きし、法改正の問題及び水銀の特性等について詳しくレクチャーしていただき、大変勉強となり今後の活動に役立てていく。

③ 施設見学としては、千葉県にある杉田建材㈱の低濃度PCBの処理施設を7月に見学させていただき、多数の参加を見ることができた。

見学に当たっては、同社より丁寧な説明を受け、参加者全員がPCB処理の理解を深めることができた。

(4) 安全衛生推進委員会

6回の委員会と3回の研修会等を以下の通り実施した。

① 研修会

第1回研修会 6月22日

- ・会員からいただいたヒヤリハット事例をまとめたCDを使用し「廃棄物処理の現場から学ぶヒヤリハット」研修を実施した。また、その際CDの配

布を行った。CDの印刷版は29年4月に全会員に配付する。

第2回研修会 11月1日

- ・中央労働災害防止協会講師による「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会」を実施した。

第3回研修会 2月28日

- ・東京労働局産業安全専門官を講師とした研修会「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」では、廃棄物処理業界の災害について、その予防と対策の研修を実施した。

- ② 安全週間や年初に安全衛生推進ポスターを会員各社に配布した。
- ③ 本協会の平成29年度労働災害防止計画を、12月に策定した。
- ④ 委員会活動を通じ、会員各社の安全衛生活動の啓発に努めた。
- ⑤ 総会では、安全衛生活動に顕著な実績を示した3社1名の表彰を行った。

(5) 医療廃棄物委員会

医療廃棄物の処理の問題はなくなりそうでなくならない問題である。行政・排出事業者・処理業者がなお一層連携をとっていく必要がある。

平成28年度の実施内容

- ① 東京都・神奈川県・静岡県で3回目となる合同懇談会を開催

東京都・各県それぞれの活動報告を行った。又、安価の問題、運搬作業時の事故などについて意見交換を行った。その結果、医療廃棄物用のパンフレットを作成し、排出事業者に配布する活動が決まり、年度末までにパンフレットの内容ができ上がり、今後有効活用していく予定である。

- ② 第2回医療廃棄物排出事業者向けセミナーを実施

排出事業者の方々に集まっていただき、セミナーを行った。

「排出事業者が責任を問われた事例」

「医療廃棄物の分別方法と注意点」などについて講義を行った。

質問用紙を前もってお配りし、その質問内容に講義中に答えていくという方式を取入れて受講生の方々に少しでもわかりやすくなるように工夫をした。

- ③ レントゲンフィルムよりシルバー（銀）を抽出する、委員の工場見学を実施した。

以上が主な活動であるが、いろいろな角度から学んでいき、今後も排出事業者と共に学んでいく予定である。

(6) 収集運搬委員会

今年度当委員会は以下の活動を行った。

4月15日及び6月23日には、収集運搬における最大の問題点は事故ということから、収集運搬時における事故事例と各社の取り組みについて議論した。同

業界でどんな事故が起こりうるのか、どうすれば防げるのか、に焦点を当てて取りまとめ、事例集を作成した。

また、6月23日には昨年同様、収集運搬時における危険物等の混載を防ぐため排出事業者や現場担当者への協力が得られるよう中間処理委員会と連携して作成した「異物混入対策用パンフレット」を利用し、実際の活用方法などを委員間で共有した。

12月6日及び2月15日は、29年度の研修内容を検討した。ドライバーの採用難、車両コストの削減、配車業務や運行管理等の業務効率化に向けて、強化改善セミナーを企画している。

(7) 建設廃棄物委員会

建設廃棄物に係る課題解決に向けて次のとおり取組を行った。

建設廃棄物委員会を開催し、適正処理の推進に関わる今後の課題等について、意見交換を実施した。

① 建設廃棄物委員会 3回開催

5月16日（月）議題

- ・建設混合廃棄物分科会平成27年度活動報告と平成28年度活動方針について
- ・再生砕石問題WG平成27年度活動報告と平成28年度活動方針について
- ・建設汚泥分科会の立上げについて
- ・平成28年度事業計画を踏まえた活動スケジュールの確定について

7月19日（火）議題

- ・施設見学先選定について
- ・建設汚泥分科会の立上げについて

9月23日（金）議題

- ・施設見学会について
- ・建設汚泥分科会の立上げについて

10月17日（木）施設見学会

施設見学先 ㈱シタラ興産（埼玉県深谷市）

参加者 （一社）東京都産業廃棄物協会

（一社）東京建設業協会

（一社）東京建物解体協会

② 建設混合廃棄物分科会

6月22日（水）

一都三県建設混合廃棄物意見交換会 幹事会 及び

建設廃棄物委員会建設混合廃棄物分科会合同会議の開催

- ・東京都産業廃棄物協会が全国産業廃棄物連合会関東地域協議会刊行物とし

て提案している『建設廃棄物の適正処理推進の手引き』の内容確認及び今後の取扱について

- ・次回「一都三県建設混合廃棄物意見交換会」の開催について

7月8日（金） 参加者数37名

一都三県建設混合廃棄物意見交換会 情報交換会の開催

- ・産業廃棄物処理業界を取り巻く景気動向等について

10月4日（火）

一都三県建設混合廃棄物意見交換会 幹事会の開催

- ・『手引き』の内容確認について
- ・『手引き』の今後の取扱いについて（関東地域協議会(11/25)への対応について）
- ・『手引き』の具体的な活用方策について
- ・「一都三県建設混合廃棄物意見交換会」の開催日程調整について ほか

11月15日（火） 参加者数47名

一都三県建設混合廃棄物意見交換会の開催

- ・講演「ゼネコンサイドから見た今後のオリンピック景気予測」
講師 鹿島建設(株)
- ・グループ討議
テーマ：異物(危険物等)混入・許可品目外混入の問題点と対応について
適正処理より価格を優先する顧客の問題点とそれに対する対応・
対策等について
新年度契約に向けた対応について ほか

③ 建設汚泥分科会 3回開催

12月16日（金）議題

- ・建設汚泥分科会の立上げについて
- ・建設汚泥分科会の今後の活動方針等について

1月27日（金）議題

- ・建設汚泥海洋投入処分制度改正に伴う対策や今後の計画について
- ・建設泥土改良土の品質管理について
- ・今後の課題について

2月24日（金）議題

- ・東京都・近隣県・関係団体の動向について
- ・建設泥土改良土について
- ・今後の進め方について

④ 再生砕石問題WG 14回開催

6月17日（月）7月6日（水）8月1日（月）11月1日（火）11月21日（月）

12月8日（木）12月20日（火）12月27日（火）1月11日（水）

1月16日(月) 1月25日(水) 2月6日(月) 2月17日(金) 3月16日(木)
・東京都が定める、再生砕石に関する品質基準の認証及び品質基準を満たす再生砕石を製造可能とする施設の認証の両制度について、検討を重ねた。

(8) 多摩支部

① 多摩支部会・研修会

6月の支部会では施設見学会の見学先及び日程等を発表し、参加を求めた。また、多摩支部法制度検討委員会・コミュニケーション委員会・教育研修委員会より定期報告を行った。

支部会后、教育研修委員会主催による「ドライブレコーダーの映像で見る事故の傾向と対策」と題して、(一社)日本事故防止推進機構よりリアルな事故事例による安全運転についてご講演いただいた。

続いて多摩環境事務所廃棄物対策課より「多摩地区における最近の指導状況について」、八王子市廃棄物対策課からは「28年度八王子市廃棄物処理計画等について」をテーマに研修会を行った。

② 施設見学会

9月に実施したコミュニケーション委員会主催の施設見学会は、排水浄化施設にオゾン処理を施すなど最先端設備を備えた管理型最終処分場(株)クリーンテック飯坂クリーンサイトを訪問した。見学会終了後、いわき湯本温泉に宿泊し、会員同士より一層親交を深めることができ、有意義な見学会となった。

③ 多摩支部適正処理意見交換会

多摩支部法制度検討委員会主催により、行政との適正処理意見交換会を29年3月に開催した。多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課より、多摩地域での指導事例等の情報をいただき、活発な意見交換を行うことができた。当日は支部幹事会を行い、29年度事業計画について会議を行った。

(9) 青年部

平成28年度は研修事業内容の品質を更に高め、他県や他業種との渉外を含めたコミュニケーション委員会の活動強化を図ってきた。

① 助成事業

4月18～19日、8回目となる「アースデイ東京2016」に参加し、会場内ごみゼロステーションの運営協力と来場者に対する環境教育を行った。

青年部員をはじめ関係者企業社員など2日間で約100名の方々にご参加いただき、楽しみながら価値あるCSR活動を継続できた。

② 環境活動

8月20日、エコツアーリズム研修と同時に青年部員同士の親睦を深めるために「東京で遊ぼう in 奥多摩 BBQ」と題して始めた企画も今回で5回目となり、

部員家族・社員も含め約50名の参加と大盛況であった。

③ 支援活動

10月より、女性部との合同プロジェクトとして、「団体課題別人材力支援事業」の一翼を担う「人材採用支援プロジェクト」がスタートした。企業合同説明会や出前講座などを通じ、この業界の認知度を上げ雇用を生み出す取組である。

④ 研修活動

- ・ 5月18日、青年部員及び青年部所属企業の若手社員を対象としたスキルアップのため、アウトプット型研修「インバケット」第二回目を企画。管理者・部下のスキルをさらに強化、自分でも気づかなかった潜在能力を引き出す研修で、今回も40名限定であったが、大盛況で再々度開催を求める声も多数あった。
- ・ 6月3日総会後の研修会では、当協会の加藤副会長より、経営者や管理者向けの「リーダー理論」をご講義いただいた。色々な角度からリーダーの在り方について勉強になった。
- ・ 10月16日には、青年部所属企業の営業職向けセミナーとして、「価格交渉力向上研修」を行った。専門講師による交渉の基本的な留意点から、手順やテクニック、そしてグループワークでは、「交渉する側」と「交渉される側」を体験して勉強した。
- ・ 1月26日「排出事業者目線の環境対策2017」というタイトルで、株式会社日本ビジネス出版編集長からご講義をいただいた。また、トーマツイノベーション株式会社より会社での人材教育に最適な定額制研修制度のご紹介や人材育成のノウハウをご指導いただいた。
- ・ 3月4日に『47の絆と汗』という命題の元、仙台の地で全産連 青年部協議会主催で全国大会が開かれた。47都道府県より500名以上の青年部員が集まり交流を深め、被災地の現状視察や復興のサードステージでもある被災地の再生を担う意味で植樹活動も行った。

(10) 女性部

女性部は平成28年度においても4つのチームが中心となり、大変有意義な活動を行った。

- ①「環境教育チーム」…8月にアーツ千代田3331という区の施設で「環境にやさしいカフェで語る地球にやさしいお仕事」と題した大学生対象（約30名参加）の環境教育を実施した。これからの我々業界の新卒者へのアプローチ方法として、とても有効なイベントとなった。この企画をベースとして29年2月、団体課題別人材力支援事業の「出前講座」を日本工学院八王子専門学校で行い、土木・造園科1年生66名が参加した。

- ②「研修会チーム」…6月、萬世リサイクルシステムズ(株)国際本部のお二方をお招きして「廃棄物を通した国際協力の最前線」というテーマでの勉強会。7月、「誰でも働きやすい職場環境づくり」というタイトルでダイバーシティの勉強会。10月13～15日(2泊3日)北海道研修旅行に出かけた。2年ぶりの遠方の施設見学会は江別市「角山開発(株)」と札幌市「北清リサイクルファクトリー・北清リサイクルセンター」、富良野市役所市民生活部環境課と北清ふらの(株)使用済み紙おむつ燃料化施設を見学。
- ③「社会貢献チーム」…ペットボトルキャップの売却益で購入した大型絵本3冊を釜石市の3か所の保育所に寄贈した。また、協会員各社の協力を得て回収したベルマークをチームで集計し、(公財)ベルマーク教育助成財団に寄贈した。
- ④「情報発信チーム」…9月15日、関東地域協議会女性部会第一回勉強会「気づかないでは済まされない！産廃の落とし穴」というタイトルで芝田麻里弁護士と木村専務理事を講師に迎え開催した。(参加者49名)・11月11日、第五回「e-Lady 21のつどい」を岡山県で開催した。(参加者26名)・29年2月3日、関東地域協議会女性部会交流会は千葉県で開催された。千葉県女性部会の設立10周年の祝賀会も兼ね、盛大に開催された。
- ⑤ そのほか勉強会
- 11月、首都高速道路(株)東京西局交通管理課長「高速道路の安全運転について」・12月、当協会の鈴木副会長「(株)京葉興業 福島事業所・焼却処理プラントについて」それぞれご講演いただいた。